



**日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会
(SC全国ネットワーク)
令和2年度 第2回 常任幹事会レポート**



去る10月6日(火)に開催された標記会議内容についてお知らせします。

議題1. 令和2年度 of 取組の現状報告及び今後の取り組みについて

(1) 情報収集・提供体制の整備に向けた取組

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する

都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動状況等調査(案)

事務局より、「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動状況等調査」の調査内容について説明し、内容及び調査の実施について承認された。

〈主な意見〉

○目的が明示されていたほうが、回答しやすいのではないかと思います。

○集まった情報の中から他の都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(以下「都道府県協議会」という。)の事例を情報共有していただきたい。

(2) クラブマネジメント人材の発掘・育成に向けた取組

- ・総合型地域スポーツクラブ全国協議会女性部会設置に向けたスケジュール(案)
- ・総合型地域スポーツクラブ全国協議会専門部会設置規程(案)

事務局より、女性部会設置に向けたスケジュールの案について、及び「専門部会設置規程(案)」の各条項について説明をした。

なお、「専門部会設置規程(案)」については、常任幹事からの意見を基に修正を行い、次回常任幹事会において改めて協議することとしている。

〈主な意見〉

○日本スポーツ協会女性スポーツ委員会には民間企業の管理職も委員に入っており、スポーツとは違う視点で意見を聞くことが出来、大変貴重だと感じている。女性部会も民間企業の方をメンバーにしてはどうだろうか。

また、女性が活躍するためには、男性の理解も必要であり、男性目線の意見も必要だと考えるので、男性もメンバーに含めていただきたい。

○中央での講演会、研修会の実施で終わるのではなく、この部会ができることによって、それぞれの地域でも女性が活躍することに繋げていきたいと思っている。

○女性部会を設置する目的と、調査研究の内容は早めに整理する必要があると考えている。総会等では、女性部会設置の経緯や今後の課題等、詳細を説明する必要があると思う。

(3) 社会的認知度の向上に向けた取組

- ・東京 2020 参画プログラム(応援プログラム)プログラム申請受付再開について(参考資料1)事務局より、東京 2020 組織委員会が実施している「東京 2020 参画プログラム(応援プログラム)」について、東京 2020 大会の延期に伴い、申請受付期間が今年の 5 月末から、12 月 31 日に延長されたことを報告した。

〈主な意見〉

特になし

議題 2. ブロック別クラブネットワークアクション 2020 の代替事業について

事務局より、中止した「ブロック別クラブネットワークアクション 2020」の代替事業として、参加者を絞り(SC 全国ネットワーク常任幹事、代表委員、都道府県体育・スポーツ協会等担当者、クラブアドバイザー)、オンラインにて実施する「リモートネットワークアクション 2020」を検討していることを、開催要項(案)及び日程表(案)に基づき説明し、12 月 21 日(月)に実施することで了承を得た。

〈主な意見〉

○昨年度まで副委員長としてご協力いただいた方やその他参加が必要な方については、柔軟な対応をとっていただきたい。

○登録・認証制度の模擬申請を行うということだが、申請用紙の記入項目の一部に解釈によって回答が変わる可能性のある項目があるので、その辺りの記載方法について検討いただきたい。

議題 3. 令和 2 年度総会の内容について

事務局より、令和 3 年 2 月 24 日(水)に JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE にて実施を予定している令和 2 年度総会の時間配分と情報共有プログラムの内容について日程表(案)を示し、説明した。

事務局案として、情報共有プログラムを「総合型クラブ登録・認証制度の整備に関する進捗状況についての都道府県事例発表及びグループワーク」とし、事例発表(好事例県がある場合のみ)とグループディスカッションを行うことを提案した。

常任幹事からの意見を基に、事務局にて引き続き内容を検討し、次回常任幹事会において改めて協議することとしている。

〈主な意見〉

- 12 月にリモートネットワークアクションで登録・認証制度の模擬申請を行うということだが、2 月に同じようなメンバーで、同じようなプログラムになるので、総会のプログラムは内容を工夫する必要がある。
- 中間支援組織の位置づけが、各都道府県でパターン化できると考える。それぞれの都道府県で、中間支援組織を設置する際にどのような工夫をしたのか事例があれば、それを聞きたい。
- 今後 47 都道府県体育・スポーツ協会に向けて実施する「総合型地域スポーツクラブ支援体制等の検討状況に関する状況把握調査」の中で、「中間支援組織の整備進捗状況」の設問も設ける予定なので、中間支援組織の整備に向けた実態がつまびらかにできるのであれば、それをベースとして色々な話を聞くことが出来るのではないかと。
- 各都道府県体育・スポーツ協会が予算措置を講じているのか、中間支援組織設置の見通しを持っているのか。いくらクラブが頑張ったところで、都道府県体育・スポーツ協会が準備をしていなければ、登録・認証制度の施行は難しいのではないかと。
- 新潟県は平成 30 年度に委託事業として登録・認証制度の試行・検証を行ったが、制度の運用に非常に負担がかかることを実感した。中間支援組織の力量次第で、この制度がスムーズに進むかどうかが決まるので、令和 2 年度総会では「中間支援組織」にスポットを当て、現状、課題、について情報共有が必要であると思う。
- 2 年間モデル事業を実施した中で、順調にいったところから、どんな人材・組織ならうまく進めることができる、ということを発表してもらったら良いのではないかと。
- モチベーションを高めるという意味では良い事例が必要であると思うが、新しいことに挑戦するときには、失敗から学ぶことが非常に多いので、失敗事例も必要だと思う。
- メインテーマを中間支援組織に定めて、参考になる事例を集めていくということによいと思う。登録・認証制度の運用を後押しする形で様々な事例を紹介できれば良いと思う。

議題 4. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用開始に向けた取組について

事務局より、「取組スケジュール等」、「令和3年度及び令和4年度役員任期等」、「運用開始延期に伴う諸規程の変更」、「説明会の開催」についてそれぞれ説明し、承認された。

〈主な意見〉

特になし

報告 1. 令和2年度クラブアドバイザーミーティングの報告について

事務局より、中止したクラブアドバイザーミーティングの代替事業として、7月8日に1年目のクラブアドバイザーを対象とした各種説明、7月14日に令和2年度当協会配置クラブアドバイザー全員を対象とした令和2年度クラブアドバイザーミーティングをオンライン形式で実施したことを報告した。

また、令和3年度から当協会はクラブアドバイザー配置事業の助成対象団体ではなくなるが、総合型クラブ育成事業推進のためには同様の事業を実施していく必要があると考えており、令和3年度以降のクラブアドバイザーミーティング開催に向け、開催形式や手法、内容等について検討していくことを報告した。

〈主な意見〉

特になし

報告 2. 令和2年度第1回女性スポーツ委員会の報告について

事務局より、令和2年度第1回女性スポーツ委員会(書面決議)において、以下の4点について採択されたことを報告した。

- ・令和2年度女性スポーツサポート研修会は、オンラインにて実施すること。
- ・ハラスメント防止に向けた取組として、スポーツ現場におけるハラスメント行為に関する動画を作成し公開すること。
- ・「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2021第1分科会」の実施内容として、「女性スポーツ促進に向けたスポーツ指導者ハンドブック」を踏まえた情報提供等を行うこと。
- ・「スポーツ推進方策2018の検証・評価」は、各委員の意見を集約し、委員長にてとりまとめ、理事会へ報告すること。

〈主な意見〉

特になし

報告 3. 令和 2 年度第 2 回地域スポーツクラブ育成委員会の報告について

- 令和 3 年度総合型地域スポーツクラブ育成計画（案）

- 令和 2 年度生涯スポーツ功労者（総合型クラブ育成指導者）の決定

事務局より、9 月 9 日に開催された第 2 回地域スポーツクラブ育成委員会で取り扱った全国協議会に関する事項のうち、本常任幹事会で説明していない以下の 2 点について報告した。

- ・「令和 3 年度総合型地域スポーツクラブ育成計画(案)」について
- ・令和 2 年度生涯スポーツ功労者の決定について

〈主な意見〉

特になし

報告 4. アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊び促進事業の実施状況について

事務局より、令和 2 年度国庫補助事業、第 1 次補正予算により実施している「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊び促進事業」における都道府県体育・スポーツ協会への委託事業実施状況について、8 月 31 日時点で 36 道府県から、全 955 コースの申請があり、そのうち、総合型クラブを対象としたコースは 511 コース（31 道府県）であることを報告した。

〈主な意見〉

特になし

報告 5. スポーツ活動継続サポート事業の実施状況について

事務局より、令和 2 年度国庫補助事業、第 2 次補正予算により実施している「スポーツ活動継続サポート事業」について概要を説明した。

9 月 16 日に開催された第 2 回新型コロナウイルス対策スポーツ活動支援特別委員会時点では、全体で 790 件の申請があり、そのうち SC 全国ネットワーク加入クラブからの申請は 68 件であったことを報告した。

〈主な意見〉

特になし